

2012年9月6日

東京医大、九州大などの産学協同研究チームによる

革新的核酸医薬品の創薬研究の開発

科学技術振興機構による研究成果展開事業に採択

東京医科大学（研究代表者 黒田雅彦）、九州大学（研究代表者 石橋達朗）、株式会社アクアセラピューティクスとの三者による産学共同研究チームは、科学技術振興機構（JST）が行う研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）のうち、平成24年度公募における本格研究開発ステージの「シーズ育成タイプ」に採択されました。

研究課題名は「新規プラットフォーム技術を用いた眼疾患に対する革新的核酸医薬品の開発」で、ペリオスチンを新たな分子標的とした糖尿病網膜症に対する核酸医薬品の創薬研究を行います。

「A-STEP」は、大学などの公的研究機関で生まれた研究成果について、その実用化を目指すための研究開発フェーズを対象とする支援プログラムです。課題や研究開発の特性に応じた最適なファンディングが設定されます。「シーズ育成タイプ」は、研究開発費総額2億円まで、研究開発期間最長4年間と設定されています。

本事業において、三者による共同研究チームは、JSTより助成金を得て、臨床開発に向けた創薬研究に取り組めます。本学からは、分子病理学講座の黒田雅彦主任教授、眼科学講座の後藤浩主任教授の研究チームが参加する予定です。

※科学技術振興機構「研究成果展開事業平成24年度第1回公募における採択」

<http://www.jst.go.jp/pr/info/info907/index.html>

【本件に関するお問い合わせ】

東京医科大学

経営企画室 田崎・日高

03-3351-6141（代表）